



奈良県立医科大学

報道資料

バックマイ病院(ベトナム)と学術、教育及び医療の 連携・協力に関する包括交流協定を締結しました。

公立大学法人奈良県立医科大学（奈良県橿原市、理事長・学長 細井 裕司）は、バックマイ病院（ベトナム社会主義共和国ハノイ、院長 Nguyen Quoc Anh（グエン・クオック・アイン））と学術、教育及び医療の連携を推進するため、本日（4月25日）バックマイ病院において包括交流協定を締結しました。

[経緯・目的]

従来から、本学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学と共同研究を実施している補聴器等のメーカーであるリオン株式会社（本社東京 代表取締役 清水健一）が 独立行政法人 国際協力機構（通称：JICA）より「難聴者聴覚検査・診断機器普及促進事業」の採択を受けました。

当事業の実施にあたり、本学が有する知見・ノウハウについての支援要請があり、本学は、専門医師のベトナム派遣による聴覚検査・診断技術に関する講習及び実習、また、バックマイ病院の医師・検査技師等を本学の医療現場に実習として受け入れを行うことになったため、これを機に交流活動等を通じ、相互理解を促進するための包括交流協定を締結したものです。



包括交流協定の署名式の様子

○ベトナム国の状況

ベトナム国では、約 100 万人（国民比 1.2%）が聴覚障害者で、5～17 歳の若年層においてはその数が 40 万人に及ぶと言われる。その実態は、これまでの調査でも明らかではない。一方、本邦の聴覚障害者数は、国民総数 12,700 万人の内、約 36 万人で、18 歳未満では 1 万 5,800 人との統計データがある。ベトナム国では診断・処置・処方などの対処が遅れ、難聴者本人の社会参加が阻害され、ひいては貧困につながる悪循環を断ち切ることがきわめて難しい状況である。（リオン(株)が JICA 提出の事業計画書より抜粋）

○国立バックマイ病院 (Bach Mai Hospital)

- ・所在地 78 Giai Phong Street, Dong Da District, Hanoi
- ・院長 Nguyen Quoc Anh (グエン・クオック・アイン)
- ・1911 年にフランス統治政府によって建設された 1,400 床を有する同国最大級の総合病院。
- ・敷地内には付属の看護婦養成学校や各種研究施設を有している。